

上映スケジュール ※開場は各回上映の30分前

会場：映像シアター

	10:00	14:00	18:30
11/5土	映画 太陽の子 10:00～11:51 バ	浜の朝日の嘘つきどもと 14:00～15:54 ト グ ス ト	映画 太陽の子 18:30～20:21 バ
11/6日	浜の朝日の嘘つきどもと 10:00～11:54	そして、バトンは渡された 14:00～16:17 字	
11/13日	いとみち 10:00～11:56 ト グ ス ト 標	すばらしき世界 14:00～16:06	いとみち 18:30～20:26 標
11/14月	梅切らぬバカ 10:00～11:17 バ	すばらしき世界 14:00～16:06	梅切らぬバカ 18:30～19:47 バ

バ …バリアフリー日本語字幕付き上映
字 …日本語字幕付き上映
標 …日本語標準語字幕付き上映

※ ゲストや時間など、やむをえない事情により変更する場合があります。
 ご了承ください。
 ※ 最新の情報についてはWebサイトをご覧ください。



映画雑談会 開催予定

映画祭実行委員とお客様が、観た映画や好きな映画について話す場を作ります。 ※当日アナウンスします

◆ゲスト情報◆

11/5土
14:00の回
登壇

『浜の朝日の嘘つきどもと』監督
タナダユキ監督



【プロフィール】映画監督、脚本家。福岡県出身。
 2001年、初監督作『モル』でPFFアワードグランプリを受賞。主な監督作に、映画『百万円と苦虫女』（日本映画監督協会新人賞）、配信ドラマ『東京女子図鑑』（ATP賞テレビグランプリ特別賞）、テレビ『浜の朝日の嘘つきどもと』（民放連テレビドラマ 最優秀賞）など、映画だけでなくテレビ・配信ドラマやCMなどの幅広い映像作品を手がけ、小説の執筆も行う。最近の作品に、映画『ロマンスドール』、『浜の朝日の嘘つきどもと』、ドラマ『昭和元禄落語心中』、『東京、愛だの、恋だの』、などがある。最新映画『マイ・ブローケン・マリコ』（ファンタジア国際映画祭 最優秀脚本賞）が22年9/30より公開。

11/13日
10:00の回
登壇

『いとみち』監督
横浜聡子監督



【プロフィール】青森県出身。大学卒業後、映画美術学校入学。
 長編1作目『ジャーマン+雨』を自主制作、同作にて07年度日本映画監督協会新人賞を受賞。『ウルトラミラクルラブストーリー』（09年）で第1回TAMA映画賞最優秀作品賞を受賞。『りんごのうかの少女』（13年）、『俳優 亀岡拓次』（16年）などのほか、テレビドラマ『パイプレイヤーズ』『ひとりキャンプで食って寝る』など。
 青森を舞台にした、越谷オサムの小説を映画化した『いとみち』（21年）で、第16回大阪アジア映画祭の観客賞とグランプリのダブル受賞。



※未就学児の入場はご遠慮ください。
 ※劇場内での飲食はお断りいたします。
 ※上映中は携帯電話の電源をお切りください。

アララの取り組み

本上映は新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催します。

アララ感染症防止対策
WEBページ



https://www.kpac.or.jp/ala/covid19/

◆チケット取り扱い

可児市文化創造センター・インフォメーション

Tel.0574-60-3050

9:00～19:00

火曜休館/祝日の場合は開館・翌平日休み



インターネット
予約対象



webページ

◆お問い合わせ

可児市文化創造センター ala

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139

HP: https://www.kpac.or.jp

TEL: 0574-60-3311 (9:00-22:30) 火曜休館/祝日の場合は開館・翌平日休み



アララ映画祭2022

ala film festival

会いにゆこう、心ゆさぶる映画たちに

2022年11/5土・6日・13日・14月

可児市文化創造センター・映像シアター

映画 太陽の子



©2021 ELEVEN ARTS STUDIOS / 「太陽の子」フィルムパートナーズ

浜の朝日の嘘つきどもと



©2021映画「浜の朝日の嘘つきどもと」製作委員会

そして、バトンは渡された



©2021映画「そして、バトンは渡された」製作委員会

いとみち



©2021「いとみち」製作委員会

すばらしき世界



©佐木隆三/2021「すばらしき世界」製作委員会

梅切らぬバカ



©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト

◆チケット発売日◆ 9月24日(土) 9時～

※電話予約は翌25日(日)9時～

一般:900円/25才以下:450円 全席指定

映画祭
WEB SITE



映画祭
facebook



映画祭
Twitter



映画祭
Instagram



20th Anniversary
ala 開館20周年

40th
可児市制施行40周年



主催：アララ映画祭実行委員会、(公財)可児市文化芸術振興財団

ala

ア-ラ映画祭2022

ala film festival

会いにゆこう、心ゆさぶる映画たちに

2022年11/5土・6日・13日・14月

可児市文化創造センターala・映像シアター

上映作品

映画 太陽の子

(2021年／111分)

11/5土
10:00 18:30

バリアフリー日本語字幕付き上映

監督：黒崎博
出演：柳楽優弥、有村架純、三浦春馬
ほか

©2021 ELEVEN ARTS STUDIOS / 「太陽の子」フィルムパートナーズ



【あらすじ】太平洋戦争末期、軍の密命で日本でも原子爆弾の開発が進められていた。京都帝国大学で研究に没頭する兄・修と戦地から一時帰郷した弟・裕之は、建物疎開で家を失い居候することになった幼なじみ世津と再会のひと時を過ごす。戦況は悪化して行く。3人の若者が否応なく戦争に巻き込まれながらも懸命に前を向こうと必死を描く。

【実行委員コメント】原爆開発に情熱を注ぐあまり広島市の被災地調査の後に狂気じみた行動に移る兄。戦場で心に傷を負い悩む弟の痛ましい姿。家を失っても3人と心を通わせながら前向きに生きようとする世津の強さが心に残る。世界で今も戦禍に苦しむ人々がいる中、過去の事ではないと考えさせられる作品です。(谷山)

浜の朝日の嘘つきどもと

(2021年／114分)

ゲスト
タナダユキ
監督

11/5土
14:00

ゲストトーク

11/6日
10:00

監督：タナダユキ
出演：高畑充希、柳家喬太郎
大久保佳代子 ほか

©2021映画「浜の朝日の嘘つきどもと」製作委員会



【あらすじ】福島にある「朝日座」は長年地元住民に愛された映画館だったが、近年は経営難に苦しんでいた。支配人の森田保造が閉館を決意したところへ、茂木莉子と名乗る女性が東京からやってくる。朝日座を立て直すためにやってきたという莉子はどんな思いを抱えているのか、そして朝日座は果たしてどうなるのか。

【実行委員コメント】映画館に足を運ぶ人が減り、実際にこの地域でも小さな映画館は姿を消しています。映画愛にあふれる支配人と立て直しを誓う莉子の想いに共感するとともに、二人の想いがセリフではなく本当に心の叫びのように感じて胸が熱くなります。莉子の高校時代の先生役である大久保佳代子さんの演技にも注目してほしいです。(織部)

そして、バトンは渡された

(2021年／137分)

11/6日
14:00

日本語字幕付き上映

監督：前田哲
出演：永野芽郁、田中圭、岡田健史
ほか

©2021映画「そして、バトンは渡された」製作委員会



【あらすじ】原作は、第16回木屋大賞を受賞した作品。高校生の優子は、血の繋がらない親に育てられ、現在は料理で愛情を表す義理の父と2人暮らし。卒業式に向けてピアノを猛特訓中で、恋や友達つきあいがうまくいかない事ばかり…。そして、優子に届いた手紙をきっかけに、父親が隠していた事や、母親が消えた理由が明らかになる。

【実行委員コメント】生きる辛さ大変さの中で自由奔放に生きるシングルマザー。それに応える男性陣、これくらい遅く生き抜ければと思いました。ひとり親世帯が増えている中、何かしらの踏み出す一押しになればと思います。複雑な社会環境の中、この様な美談があって欲しいです！感動のハンケチーフお忘れ無き様、晴れやかな「旅立ちの唄」に乾杯。(古川)

すばらしき世界

(2021年／126分)

11/13日
14:00

11/14月
14:00

監督：西川美和
出演：役所広司、仲野太賀、六角精児
ほか

©佐木隆三／2021「すばらしき世界」製作委員会



【あらすじ】13年の刑期を終えて旭川刑務所を出所した元殺人犯の男は、今度こそカチガシとしてまっとうに生きると決意して上京する。しかし更生をサポートする社会体制は不十分で、出所者への偏見も強い。加えて、頭に血が上りやすく正義感の強い彼は、現実社会の中で悪戦苦闘する。そんな彼の良さを理解し、手を差し伸べてくれる人はいるのだろうか？

【実行委員コメント】主人公を演ずる役所広司と、脇を固める俳優陣の演技が良いです。一旦、法を犯すと、償いをした後も生きにくいこの社会には、法を犯さなくても弱者にばかり痛めつける人々もまた存在します。そんな社会で、支援者との絆を深め、自制心を培い、まっとうに生きる道を手探りする主人公の姿が清々しく、予想外のラストにも納得できます。(細江)

いとみち

(2021年／116分)

ゲスト
横浜聡子
監督

11/13日
10:00

日本語標準語字幕付き上映
ゲストトーク

11/13日
18:30

日本語標準語字幕付き上映

監督：横浜聡子
出演：駒井蓮、豊川悦司、黒川芽以
ほか

©2021「いとみち」製作委員会



【あらすじ】津軽弁がひどく周囲とうまくコミュニケーションが取れない女子高生のいと。メイドカフェでのアルバイトは、最初は戸惑いながらも徐々に周囲と打ち解けていきやりがいを感じていく。しかしそんな矢先メイドカフェに困難が襲い掛かる。

【実行委員コメント】青森を舞台にしたご当地映画ですが、ご当地映画色が押し出し過ぎておらず、青森の要素がうまく映画に溶け込んでいます。観客もいつしか女子高生のいとと周囲にいるかのように感じ自然と応援してしまいます。主演の駒井蓮さんが、いと役を熱演し段々輝きを増していく様子は胸が躍ります。その輝きが最高潮に達するラストシーンは必見！字幕がないと外国語のように聞こえ完全に置いていかれてしまう津軽弁もお楽しみください。(上映は標準語字幕が付きまます。)(富岡)

梅切らぬバカ

(2021年／77分)

11/14月
10:00・18:30

バリアフリー日本語字幕付き上映

監督：和島香太郎
出演：加賀まりこ、塚地武雅
渡辺いっけい ほか

©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト



【あらすじ】梅の枝が柵を越えて道に伸びている古民家。そこで50歳になる自閉症の息子「忠さん」と占い師の母親は、ささやかでも穏やかな日々を送っていた。年老いた母は先行きを案じ、忠さんをグループホーム(GH)に入れるが、ある事件が起こり、近隣住民のGH排斥運動が始まる。

【実行委員コメント】何といっても加賀まりこと塚地武雅が素晴らしい。そして地域で共に生きていくために本当に大切なことは何かを教えてくれる心温まる物語です。「共生社会」「障がい」「少数派」「8050問題」などのテーマを考えるきっかけになればと思いました。タイトルは「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」という諺からきていて、「梅切らんでも馬鹿じゃない」と言いたいというお話。(平井)